



旭三小だより

令和4年度 学校通信
第5号 7月22日(金)

旭川市立旭川第三小学校

つながる、つなげる

校長 三木 勝仁

病院などの看板に、語呂合わせとともに書かれた電話番号を目にすることがあります。耳鼻科の場合には、33(耳)、87(鼻)が多いように思います。電話番号なので数字が並んでいることは同じなのですが、専門とする科と電話番号につながりがあると、興味をもったり、記憶に残りやすかったりするように感じます。

学習で身につけたいことも、以前に学んだり取り組んだりしたこと、身近な場面やテレビなどで見聞きすることなどつながると、問題意識や興味・意欲が高まったり、理解が深まったりします。

また、学んだこと・身につけたことを、違う場面で用いたり、当てはめてみたりする「つなげる」ことも大切です。今号に寄稿してくれた中村教諭は、前学年、他教科とつなげた学習について述べてくれています。子どもたちの中でさまざまな知識や技能、体験、人の思いがつながり、深くしみこむものがそれぞれにあったことと思います。

すばらしい…

休み時間中のこと

グラウンドや体育館などで、走ったりボールを使ったゲームなどをしている子、学校図書館で本に親しんでいる人もいますが、教室で特技を楽しむ伸ばしている人に出会いました。

①プログラミング Scratch(スクラッチ)という「プログラミング言語とその開発環境」が、児童1人1人が持っているタブレットに入っています。これを用いてプログラミングしている人がいました。見せてもらったプログラムはARゲームで、カメラで撮られている私とその子の動きで、画面上を動くボールを跳ね返すピンボールゲームでした。「ビデオモーションセンサーを使って…」と説明もしてくれました。すばらしい!

②コマ回し 友達と教室でコマを回して楽しんでいる人たちがいました。コマにひもをかけ、ていねいに巻いて、サッと投げ、きれいに回していました。どっちが長く回り続けるかを競ったり、「ひもかけ手のせ」などの技を披露し合ったりしていました。それぞれに楽しみながら、みんなでも楽しんでいて、すばらしい!

リレー連載

カリキュラム・マネジメント

カリキュラムマネジメントを意識した取組 4年2組担任 中村 大地

私たち教員は、子どもたちが、学校の教育目標を達成することができるように、普段の授業や学校行事など学校教育全体を通して指導しています。その指導の際には、カリキュラムマネジメントを意識して取り組んでいます。限られた時間の中での学習になるので、前学年で何を学んで活用できるのか確認し、それを生かしながら他教科と関連させて指導を行っています。ということなのか、今、私が受け持っている4年生を例に説明します。

今年度、1学期、総合的な学習の時間では、「福祉」をテーマに学習を進めてきました。子ども達は、アイマスクをしての歩行や車いすに乗るなど、様々な疑似体験を通して感じた疑問から課題を設定して調査活動を行いました。インターネットなども活用して調べ、情報を整理しました。そして新聞の形に整理し、まとめていきました。このまとめる活動は国語科「新聞を作ろう」の学習と関連させて指導しました。子どもたちは国語科の時間に、新聞の書き方を知り、実際に書き進めました。また、ICTを活用して、クラスにアンケートを取っている子どもたちもいました。アンケートの結果はタブレットに棒グラフとなって表示されていました。その棒グラフを、3年生の算数科「表と棒グラフ」の学習で学んだことを生かして分析し、結果をまとめていきました。そしてさらに参観日の時に、保護者のみなさんにまとめたことを伝えました。その発表の際にも、3年生の国語科「わたしたちの学校じまん」で学習した「伝えたいことに合わせて資料を提示する」ことを意識して行っていました。

このように、前学年で学んだことを生かしながら様々な教科と関連させ、子どもたちの学びの質が高まり学校の教育目標が達成できるように計画し取り組んでいます。また、子どもたちの教育の目標が達成できたのか、同僚の先生と振り返り、改善を図っています。2学期以降も、旭川第三小学校では、子どもたちの学びが次の学年につながっていくことができるように、カリキュラムマネジメントを意識して取り組んでいきます。

**よく考える子
自分の考えをよりよく伝えたり、相手の
考えをしっかりと受け止めたりできる子**

演劇ワークショップ

7月1日(金)、6年生は富良野演劇工場の太田工場長さんと岩本さんを招いて、コミュニケーション力を高める学習を行いました。

子ども達は、役者の演劇技能をきたえるために行われる「シアターゲーム」に挑戦しました。まず始めに行ったのは「数のゲーム」です。2人ペアになって、1~3までの数字を順に交互に言い合います。これを素早くリズムよく行います。さらに、同じ内容で、「2」の時は手拍子をする…、などと内容をどんどん難しくしていきます。難しくなるにつれ、うまくいくペアとそうでないペアがでてくると、工場長の太田さんはこう問い掛けました。「うまくいくためにはどうしたいのか」子ども達からは「目を合わせる」「体でリズムをとる」「次はあなたの番よ、と分かるように合図を出す」などたくさんのアイデアが出ました。子ども達はゲームを通して、人とコミュニケーションを図るために必要なことを学ぶことができました。

最後は、答えを言わずに全員で漢字一文字を作り、何という漢字を作ったのかを先生方へ問題として出しました。漢字を作成するとき、誰かがリーダーシップをとって指示を出し、その指示を他の誰かが上手にサポートしたり、隣の人へこっそりアドバイスをしたするなど、実にいろいろな方法で子ども達は、漢字一文字を完成させました。(答えは下の写真です)

この学習を通して、子ども達はコミュニケーションに必要なことを体験からたくさん学びました。これからの学習や生活に生かし、コミュニケーション能力をさらに高めてほしいと思います。



**きたえる子
身近な危険を知り、安全に生活できる子**

自転車教室

7月7日(水)、2, 3年生を対象に、交通安全課の方を招いて自転車教室を行いました。

グラウンドに設置されたコースを実際に自転車に乗りながら、横断時の左右と後方の安全確認の方法について、交通指導員の方が一人ひとりへ指導していただきました。

これから始まる夏休みも、交通事故に遭わないよう学校でも指導していきますので、ご家庭でも交通安全についてお話しいただければ幸いです。

**仲よくする子
いろいろな人と仲よくできる子**

宿泊研修

7月5日~6日に、普段の学校生活では体験できない宿泊研修へ5年生は行きました。宿泊研修では「めりはりをつけて班で協力し目的を達成しよう」を目指して取り組みました。

ウォークラリーでは規定の時間内のゴールを目指しました。分岐点に差し掛かるとみんなで「コマ図」を読み解きながら、進む方向をリーダーが決断したり、クイズの問題をみんなで知恵を絞り合ったり、疲れている人に声を掛けて励ましたりと、相手の気持ちを考えた行動が見られました。

右の写真は、1日の活動を終えて、リーダー会議をしているところです。各班のリーダーが、今日の活動で良かったことや反省することを交流しました。どの班のリーダーも自分たちの班の良いところ、そして改善すべき点をきちんと捉えて発表することができました。



これからも友達の良さを見付け、いろいろな人と仲よくできるよう、学校ではいろいろな機会をつくっていきます。

河川学習~エンジョイマップを作ろう

今年度、「公益財団法人 河川財団」の指定を受けて忠別川を舞台に総合的な学習の時間として「エンジョイマップを作ろう」の学習に4~6年生が取り組むことになりました。

7月14日(木)には、4年生が防災センター近くの忠別川河川敷で水生昆虫や川魚を観察し、川の水質調べを行いました。

7月20日(水)には、5年生が忠別ダムで防災と利水について学習しました。

6年生は2学期に予定しています。詳しくは次回の学校便りで紹介いたします。

日	曜	8月の行事予定
10	木	学校閉庁日(~15日)
11	金	山の日
13	土	ふれあい千代田祭り
15	月	諸費引き落とし日
22	月	2学期始業式、交通安全の日
23	火	教育実習開始(~9/16) クラブ、返本週間(~25日)
24	水	二計測(4~6年)
25	木	二計測(1~3年)
30	火	修学旅行1日目(6年)
31	水	修学旅行2日目(6年)

予定は変わることがあります。学級通信でご確認ください。